

Honda Access

この説明書はオーディオの操作について説明しています。
ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の取扱説明書 ナビゲーション編をお読みください。
- 本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

機能

CD/DVD

Music Rack

SD

USB

iPod

VTR

Digital TV

AM

FM

DSP/SRS CS Auto・イコライザ・MP3/WMA

- ※上記表の■はAVソース画面に表示される各モードボタンを表します。
- ※iPodを接続するには別売のiPod接続コードが必要になります。
- ※USBメモリデバイスを接続するには別売のUSB接続コードが必要になります。
- ※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。

ACCESS™

NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS社ロゴおよびNetFrontロゴ
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。

このシステムでできること

はじめに／共通……………P11～45

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やオーディオの調整
- カスタマイズソースの設定

など

MP3/WMA ……………P129～143

- MP3/WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート再生

など

録音設定／データ管理……………P47～75

- 録音方法(手動／自動)の選択
- 録音のしかた
- HDDの情報
- 画像の変更や追加
- ローカル／カスタムアップデート
- データの初期化

など

ラジオ……………P145～156

- ラジオを聞く
- バンド(AMまたはFM)を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

CD ……………P77～87

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

映像 DVD／テレビ／VTR ……P157～249

- DVDを再生させる
- 地上デジタルテレビ放送を見る(12セグ／ワンセグ)
- VTR機能を使う

など

Music Rack……………P89～127

- Music Rackを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生
- 選曲メニュー(アルバム名／アーティスト名／ジャンルなど)から曲を選択する
- お気に入り登録
- タイトル情報の上書きやタイトル名の編集(変更)

など

SD/USB/iPod ……………P251～312

SDカード／USBメモリデバイス／iPodに収録されているトラックを聞くことができる

その他……………P313～347

- カスタマイズ機能
- システム設定
- リア席モニターについて(別売)
- 故障かな?と思ったときの対処方法や用語説明

など

※詳しくはそれぞれのページを参照してください。

はじめに／
共通

録音設定／
データ管理

CD

Music
Rack

MP3/WMA

ラジオ

映像
DVD/テレビ

iPod/SD/USB

その他

目次(1)

はじめに／共通

P11~

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AUDIOソース画面のモードボタンについて	22
AUDIOメニュー画面について	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27~29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32~43
音場(臨場感)を変えるには	32~34
パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには	35~37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43
カスタマイズソース(Quick)を設定するには	44、45

録音設定／データ管理

P47~

録音方法の手動／自動を選択する	48
録音する	49~53
本機のMusic Rack(HDD)機能について	49
Music Rack(HDD)への録音について	50~53
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する	51~53
データ管理	54~75
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて	54、55
Gracenoteデータベースの更新をするには	56~61
Gracenoteデータベースのデータを初期化するには	62、63
音楽データの修復をするには	64
音楽データの初期化をするには	65
HDDの情報を知る	66
画像を変える	67~69
画像を追加する	70~72
画像をコピーする	73~75

CD

P77~

CDプレーヤーを使う	78~87
各部の名称とはたらき	78
表示部(再生画面)について	79
CDを聞く	80、81
CDモードを終了する	82
CDを取り出す	82
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	83
早戻し／早送りをする	83
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)	84、85
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	86、87

Music Rackを使う ……90~127
各部の名称とはたらき ……90
表示部(再生画面)について ……91
Music Rackを聞く ……92、93
Music Rackモードを終了する ……93
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ 選曲する(トラックを戻す/進める) ……94
早戻し/早送りをする ……94
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……95
選曲メニューより選択し 再生させる ……96~103
再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生) ……104~107
再生中の曲を お気に入り登録する ……108、109
再生中の曲のジャンルとミュージック エスコートを設定する ……110、111
好きなアルバムを選ぶ ……112
アルバムリストの編集 (曲管理) ……113~119
トラックリストの編集 (曲管理) ……120~125
お気に入りを管理する ……126、127

ラジオを使う ……146~156
各部の名称とはたらき ……146、147
表示部について ……148
ラジオを聞く ……149
ラジオモードを終了する ……150
プリセット1/プリセット2を選ぶ ……150
選局する ……151~153
プリセット(メモリー)する ……154、155
交通情報を受信する ……156

MP3/WMAについて ……130~135
MP3/WMAを使う ……136~143
各部の名称とはたらき ……136
表示部(再生画面)について ……137
MP3/WMAを聞く ……138、139
MP3/WMAモードを終了する ……139
MP3/WMAディスクを取り出す ……139
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……140
早戻し/早送りをする ……140
好きなフォルダを選ぶ ……141
再生モードを選択する (リピート再生) ……142、143

目次(2)

D V D

P157~

DVDプレーヤーについて	158、159
DVDプレーヤーを使う	160~181
各部の名称とはたらき	160~162
再生を始める	163~165
DVDモードを終了する	165
DVDディスクを取り出す	165
再生を停止する	166
再生を一時停止(静止)する	167
再生中にチャプターを戻す/進める	168
早戻し/早送りをする	168
コマ戻し/コマ送りをする	169
スロー戻し/スロー送りをする	169
DVDメニューを使う	170、171
タイトルメニューを使う	172、173
好きな所から再生する (サーチ選択)	174、175
音声言語/字幕言語を切り替える	176
時間の表示を替える	177
リピート(繰り返し)再生する	178
アングル(角度)を切り替える	179
VRモードディスク内の映像をリストより 選択し再生させる	180、181
DVDの初期設定について	182~189
各部の名称とはたらき	182
初期設定を変更する	183~189

テ レ ビ

P191~

(デ ジ タ ル T V)

テレビについて	192、193
地上デジタルテレビ放送について	192
地上デジタルテレビ放送の 番組受信について	193
B-CASカードについて	194、195
B-CASカードについて	194
B-CASカードを入れる/取り出す	195
B-CASカードに関する お問い合わせ先について	195
Digital TVを使う	196~245
各部の名称とはたらき	196~200
パネル部について	196
パナー表示について	196、197
タッチパネル部のボタンに ついて	198、199
デジタルメニューについて	200
Digital TVモードにする	201、202
Digital TVモードを終了する	202
視聴エリアの変更 (地方/県域の設定をする)	203、204
MFNサーチを実行する	205
エリアスキャンをする	206
チャンネルスキャンについて	207
選局する	208~211
プリセットをメモリーする	212、213
番組表を見る	214、215
映像を切り替える	216
音声を切り替える	217
字幕表示を切り替える	218
チャンネル表示の設定	219
郵便番号設定	220
チャンネル表示設定	221、222
文字スーパーを切り替える	223
現在地確認設定	224、225
自動切替(ワンセグ・12セグ・ 切替なし)の設定をする	226、227
アンテナ電源の設定をする	228、229
受信可能なチャンネルと受信レベルを 確認し、受信する	230、231

テレビ (デジタルTV)

B-CASカード(ICカード)の
テストをする ……232、233
放送局からの情報を見る ……234~236
設定を初期化する……237
選局操作の設定をする ……238、239
データ放送を利用する ……240~242
リレーサービスの番組を見る ……243
臨時サービスの番組を見る ……243
緊急放送を見る……244
エラーコードについて……245

VTR

VTR機能を使う ……248、249

P247~

目次(3)

SD P251~ (SDカード)	SDカードの音楽再生について …252~254
	SDカードを使う ……255~267
	各部の名称とはたらき ……255
	表示部(再生画面)について ……256
	SDカードを聞く ……257、258
	SDモードを終了する ……258
	SDカードを取り出す ……258
	好きなフォルダを選ぶ ……259
	操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……260
	早戻し/早送りをする ……260
	トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……261
	選曲メニューより選択し 再生させる ……262、263
	再生モードを選択する(リピート/ ランダム/スキャン再生) …264~267

USB P269~ (USBメモリデバイス)	USBメモリデバイスの音楽再生に ついて ……270~272
	USBメモリデバイスを使う …273~292
	各部の名称とはたらき ……273
	表示部(再生画面)について …274、275
	USBメモリデバイスを本機に 接続するには ……276
	USBメモリデバイスを聞く …276、277
	USBモードを終了する ……277
	USBメモリデバイスの接続を やめるには ……277
	操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める) ……278
	早戻し/早送りをする ……278
	トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる ……279
	選曲メニューより選択し 再生させる ……280~283
	USBフラッシュメモリの再生モードを 選択する(リピート/ランダム/ スキャン再生) ……284~287
	ウォークマンの再生モードを選択する (リピート/ランダム/ スキャン再生) ……288~291
	好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合) …292
好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合) ……292	

iPod

P293~

iPodについて	294、295
iPodとは	294
対応可能なiPod	294
使用上のご注意	295
iPodを本機に接続するには	295
iPodを本機に接続すると	295
iPodを使う	296~312
各部の名称とはたらき	296
表示部(再生画面)について	297
iPodを聞く	298
iPodモードを終了する	299
再生を止める(一時停止)	299
操作パネル上のボタンにて 1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	299
早戻し/早送りをする	300
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	301
選局メニューより選択し 再生させる	302~307
再生モードを選択する(リピート/ シャッフル再生)	308、309
iPodビデオモードで映像データを 再生させる	310~312

その他

P313~



カスタマイズ(Quick)機能について	314
壁紙を表示する	315
システムの設定について	316、317
リア席モニターについて(別売)	318
初期設定一覧	319
メッセージ表示について	320、321
故障かな?と思ったら	322~335
エリア番号と放送局一覧	336、337
用語説明	338~343
個人情報の取り扱い(初期化)について	344
索引	345~347




はじめに／共通

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AUDIOソース画面のモードボタンについて	22
AUDIOメニュー画面について	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27～29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32～43
音場(臨場感)を変えるには	32～34
パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには	35～37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43
カスタマイズソース(Quick)を設定するには	44、45

本機で再生できるディスク

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL		
		<i>MP3</i>	<i>WMA</i>	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※ はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SA-CD
- HDD-DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダによって
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3/WMAにつきましては  「MP3/WMAについて」130～135ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

！ 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

はじめに
／

再生できるディスク

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたディスクを再生できます。▶159、180、181ページ
- BSデジタル、地上デジタルテレビ放送、一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能（コピーワンス）」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにビデオレコーディングモードで記録されたものに限り可能です。

：再生可能なディスクの一覧は159ページを参照ください。

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。

※アダプターを使用しても再生できません。

■dts-CD（dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD）について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

ディスクレーベル面（印刷面）に[CDDOGO]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2008 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright©2000-2008 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBIはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください

:www.gracenote.com/corporate



アドバンス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

■Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されること以外でのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意する。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。


Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。**Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。**GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。 


■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■16GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作保証できません。  270ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 「システムの設定について」316、317ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なったから使用してください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごとと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。



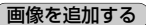
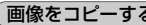


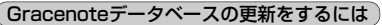

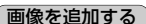
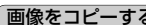

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチをO(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

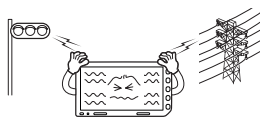
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」54～61ページ
 - 画像の追加やコピー  「 画像を追加する」70～72ページ
「 画像をコピーする」73～75ページ
 - 音楽再生  251～267ページ
※対応可能なSDカードと再生につきましては253ページを参照ください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - ローカルアップデート  「 Gracenoteデータベースの更新をするには」56～58ページ
 - 画像の追加やコピー  「 画像を追加する」70～72ページ
「 画像をコピーする」73～75ページ
 - 音楽再生  269～292ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「Lock」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。受信状態が悪くなったら、受信状態の良いものを選局してください。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- テレビの受信は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



■DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



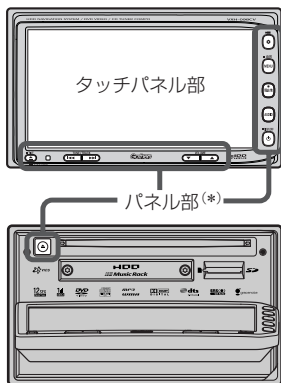
米国特許番号：5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535、およびその他の米国や世界中に申請中並びに審理中の特許ライセンスに基づき製造されています。DTSは登録商標です。DTSロゴとシンボルおよび2.0 ChannelはDTS, Inc.の商標です。

©1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

はじめに
共通

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について
DVDビデオについて

はじめに



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“○○ボタンをタッチする”
パネル部のボタンはパネルの“○○ボタンを押す”と記載しています。
(* : 使用するボタンは白色表示しています。)

※本書のマークについて

- ……本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
- ……画面上でタッチパネル操作を表します。
- ……操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。
: ……操作を行なった結果を説明します。
- ……パネル部のボタンを表します。
- ……タッチパネル部のボタンを表します。

●パネル部の詳細につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 43ページを参照ください。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはCD/DVD/Music Rack/SD/USB/iPod/VTR/Digital TV/AM/FMモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています)

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (21ページ)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)に入れる。

: 起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編42ページを参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(CDモード画面(例))



アイコン表示(CDモード選択中)

- | | | | |
|----------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------|
| CD ……CD/MP3/WMAモード | DVD ……DVDモード | MR ……Music Rackモード | |
| SD ……SDモード | USB ……USBモード | iPod ……iPodモード | VTR ……VTRモード |
| DTV ……Digital TVモード | AM ……AMモード | FM ……FMモード | |

⚠ 注意

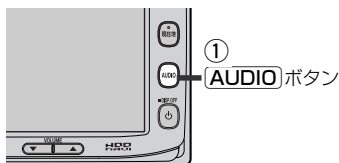
I (ACC) (エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合に仕がって操作してください。

■ ナビゲーションモード画面または他のモードが表示された場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



□ AUDIOソース画面のときは…

②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

②操作したいモード(**CD** / **DVD** / **Music Rack** / **SD** / **USB** / **iPod** / **VTR** / **Digital TV** / **AM** / **FM**) ボタンをタッチする。

AUDIOソース画面（例）

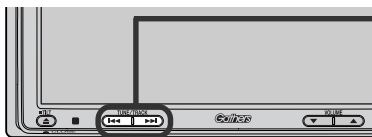


■ 操作したいモード画面が表示された場合

78～312ページに仕がって、ご希望の操作をしてください。



アドバース



●各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック ボタン…CD / MP3 / WMA / Music Rack / SD / USB

選局 ボタン…Digital TV / AM / FM

スキップ ボタン…DVD

設定の保持について

- **決定** ボタンのある画面では、**決定** ボタンをタッチすると設定が保持されます。
- **決定** ボタンをタッチしないで **戻る** ボタンをタッチまたは **メニュー** / **現在地** ボタンを押すと設定は保持されません。
- **決定** ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定（設定保持）となります。（例：映像 / オーディオ調整など）

AUDIOソース画面のモードボタンについて

選択可能モードはアイコンおよびモードが白色表示*1



選択不可能モードはアイコンおよびモードが灰色表示



*1印：SDカード未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

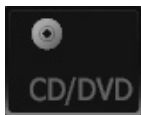
*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可となります。

*モードボタンの色はメニュー配色の設定より変更できません。[P.30、31ページ]

●CD/DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD/DVD未挿入時*2



CD/DVD選択再生中にディスクを抜いた時*3



CD/MP3/WMAディスクを挿入し再生時



DVDディスクを挿入し再生時



アトバイス

●各モードボタンをタッチすることによって各々のモードへと切り替わります。

CD/DVD = CD/DVD/MP3/WMAモード

Music Rack = Music Rackモード

SD = SDモード

USB = USBモード

iPod = iPodモード

VTR = VTRモード

Digital TV = Digital TVモード(地上デジタルテレビ放送)

AM = AMモード(ラジオモード)

FM = FMモード(ラジオモード)

※ **CD/DVD** ボタンはディスク挿入の有無によって **CD** ボタン / **DVD** ボタンと表示が変わります。

※ **SD** を操作するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

※ **USB** を操作するにはUSB接続コード(別売)とUSBメモリデバイスを本機に接続しておく必要があります。

AUDIOメニュー画面について

AUDIOメニュー画面は選択するボタン（**AUDIO設定** / **システム設定**）によってAUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

AUDIO設定のAUDIOメニュー画面



システム設定のAUDIOメニュー画面（例）



※AUDIOメニューは最終選択時の状態を保持するため、状態によっては**AUDIO設定**または**システム設定**ボタン選択の操作は省略することができます。

※**システム設定**ボタン選択時に表示されるAUDIOメニューの各機能につきましては「**システム設定**」の316、317ページを参照ください。

はじめに
共通

「AUDIOソース画面のモードボタンについて」
「AUDIOメニュー画面について」

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

- 1 各モードの画面で、
パネルの **現在地** ボタンを押す。

: 音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

CDモード画面(例)



1 現在地 ボタン



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: 選択中モードの画面に戻り、選択中モードのタッチパネルでの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、
パネルの **現在地** ボタンを押してください。

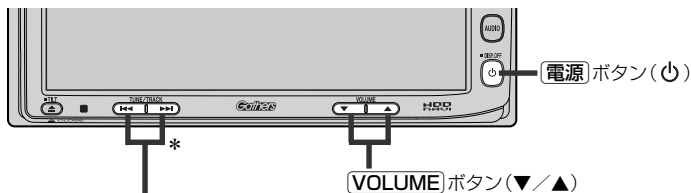


① AUDIO ボタン



アドバイス

音量調整 (**VOLUME** ボタン) や **トラック** / **スキップ** を使ったの操作や AV の OFF / ON (**電源** ボタン) は、ナビゲーション画面のままでもできます。



トラック ボタン / **選局** ボタン / **スキップ** ボタン (◀◀ / ▶▶)

*用途によって呼び名が変わります。

☞ 21 ページ アドバイス 参照

音声はそのまま、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

- 1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を2秒以上押す。
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

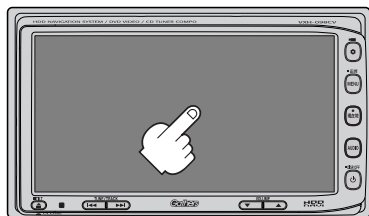


- 1 **電源** ボタン(⏻)

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度 **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



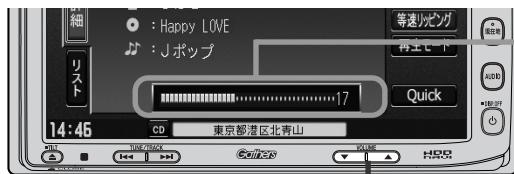
アドバイス

音声はそのまま選択中モードの情報(トラック名や再生時間、時計表示など)を一部残し広範囲を壁紙表示にすることができます。

「壁紙を表示する」315ページ

音量を調整する

CDモード画面(例)



音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0~40)を示すVOLUMEが表示されます。
ボリュウム
VOLUME表示は約2秒間表示されます。

1 VOLUME ボタン(▼/▲)

1 パネルのVOLUME ボタン(▼/▲)を押す。

▲側：音量が大きくなります。


▼側：音量が小さくなります。

※押しつつけて調整することもできます。




アドハイス


- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。

 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「音声案内の音量を調整するには」218、219ページ

- DVD/VTRモードの場合、音量は個別に設定できます。

※CDモードで音の大きさを“13”にした場合、MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/Digital TV/AM/FMモードも音の大きさは“13”となります。DVD/VTRモード時はもとの音量を保持します。

- OPTION ボタン()にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。

 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 246、247ページ

映像の調整のしかた(1)

CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/ラジオ(AM・FM)モード画面のとき、明るさ/コントラスト調整ができます。DVD/VTR/Digital TVモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い調整/ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ/コントラスト調整となります。)

共通
／

〔音質調整〕

／
〔映像調整〕



ヘッドハイス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル/フル/ワイド/シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力が接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/iPod/ラジオの画面、DVDの画面、VTRの画面、Digital TVの画面で別々に調整することができます。

1

パネルの **〔MENU〕** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **〔MENU〕** ボタン

2

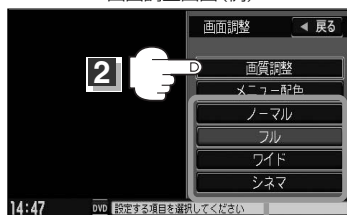
画面の **〔画質調整〕** ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

※ディスプレイ選択をする場合は29ページ

- **〔ディスプレイ選択の場合〕** を参照してください。

画面調整画面(例)

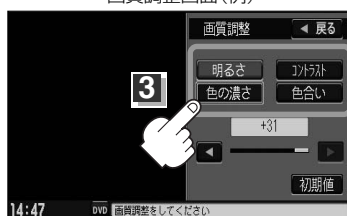


DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合に表示されます。(ディスプレイ選択*)

3

調整したい項目 (**〔明るさ〕** / **〔コントラスト〕** / **〔色の濃さ〕** / **〔色合い〕**) ボタンをタッチする。

画質調整画面(例)



映像の調整のしかた(2)

4

画面の◀▶ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)



4



アドバイス

- 調整はタッチパネルの◀ボタンまたは▶ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。
- 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)の調整値をメモリーしています。ライトをつけている/ライトを消しているときで、それぞれ、お好みの値に調整してください。

■ 明るさ(1~31)調整の場合

◀▶ボタンをタッチすると暗くなり、▶ボタンをタッチすると明るくなる。

■ コントラスト(1~31)調整の場合

◀▶ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ボタンをタッチすると白さが増す。



アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(+側へ)▶ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1~31)調整の場合

◀▶ボタンをタッチすると淡くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1~31)調整の場合

◀▶ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

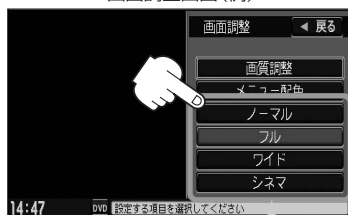
■ ディスプレイ選択の場合 (DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合)

手順 **1** (27ページ)で画面調整画面を表示する。

ノーマル/フル/ワイド/シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定(決定)となります。

画面調整画面(例)



- ノーマル : 4 : 3の映像の画面
- フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9にした画面
- ワイド : "フル" の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面



- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5

設定を終わるには…

調整画面が消えるまで待つか画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **3**、**4** (27、28ページ)で調整した画質(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

画質調整画面で画面の **初期値** ボタンをタッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)

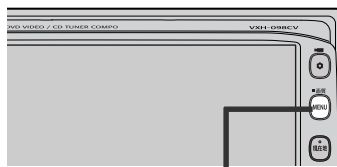


メニューの配色を変える

背景や情報バーなどの色を変えることができます。

1 パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **メニュー配色** ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。

▶ 「■ ディスプレイ選択の場合」 29ページ

画面調整画面(例)



3 お好みの配色ボタン(1/2/3)をタッチする。

：3種類の配色パターンが選択できます。

配色設定画面



透過率を変更することができます。
▶ 31ページ
※透過率の値によって配色の雰囲気
に相違が出ます。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

※すでに配色を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

□ 透過率を変更する場合

透過率を変更することができます。

- ① 30ページ手順 3 のとき、
変更したい透過率の値
(40% / 20% / 0% ボタン)を
タッチする。



※透過率を変更してもDVD/Digital TV/iPodビデオ/VTRモードなど(映像を表示するもの)では透過率は設定できません。



アドバイス

画面右側に表示される調整画面/配色画面は約20秒間表示されます。

オーディオの調整をする(1)

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

1 オーディオモード画面で
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを
2回押します。

※音場はLIVE/HALL/STADIUM/
CHURCH/SRS CS Autoの5種類です。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



手順 **3** で選択した
音場が表示されます。 **1** **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の
音場設定 ボタンをタッチする。

：音場設定画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面(例)



2-2



- 交通情報設定画面(**2** 156ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(**音場設定** ボタンは選択できません。)
- AUDIOメニュー画面につきましては **2** 23ページを参照ください。

3 お好みの音場(DSP/SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会
に設定します。

1 **DSP** ボタンをタッチし、お好みの音場
ボタン(**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** /
CHURCH)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。
(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① SRS CS Auto をタッチする。

：SRS (の音場) 効果で再生されます。

● SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目 (**FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** ボタン) と **-** / **+** ボタンをタッチして音の高さ / 低音の強さ / 音の位置をお好みの値に調整することができます。



フォーカス
SRS FOCUS : 耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

トゥルーベース
SRS TruBass : 低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

ミックストリア
SRS MixToRear : フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

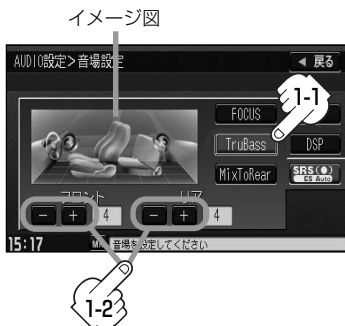
□ FOCUS を選択した場合



フロントまたはリアの音の高さを

- ボタンタッチで低くし、
- +** ボタンタッチで高くします。(0~8)

□ TruBass を選択した場合



フロントまたはリアの低音のレベルを

- ボタンタッチで下げ(弱くし)、
- +** ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0~8)

オーディオの調整をする(2)

□ MixToRear を選択した場合



フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ

- ➖ ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)、
- ➕ ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0～8)



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- **SRS CS Auto** はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。
- 手順 **3** (32ページ)で音場を選択するとパラメトリックイコライザの設定(🔧 35、36ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は音場設定画面(32、33ページ手順 **3**)で **OFF** ボタンをタッチしてください。



パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、イコライザの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **(MENU)** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 (MENU)ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **イコライザ設定** ボタンをタッチする。


：パラメトリックイコライザ画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面



2-1

2-2

 AUDIOメニュー画面につきましては [P.23](#) ページを参照ください。

3 お好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

① 音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。


※さらにお好きな値に調整することもできます。

[P.24](#) 次ページ

パラメトリックイコライザ画面



1

 ポップス/ロック/ジャズは本機に既存の音質となります。ユーザー1/ユーザー2はイコライザの値がOFF状態(±0)となります。

※お好きな値に調整することもできます。 [P.36](#) ページ

オーディオの調整をする(3)

□ お好きな値に調整するには…

1. 値を調整する。

：イコライザ(のバー)をタッチする方法と▲/▼をタッチして調整する方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン



パラメトリックイコライザ画面(例)

2. 登録 ボタンをタッチする。

：調整した値で上書き保存されます。

※イコライザのバーの—の部分が値(レベル)を表します。

■ 中心周波数と効果を設定する場合

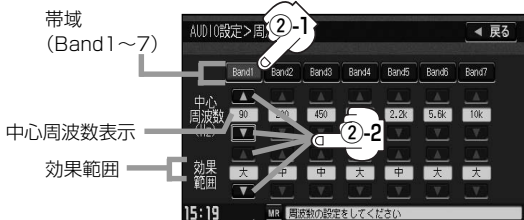
- ① 設定したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチし、**周波数設定** ボタンをタッチする。



：周波数設定画面が表示されます。

- ② 調整したい帯域(Band1~7)を選択し、中心周波数または効果範囲の▲/▼をタッチする。

(例) Band1を選択した場合

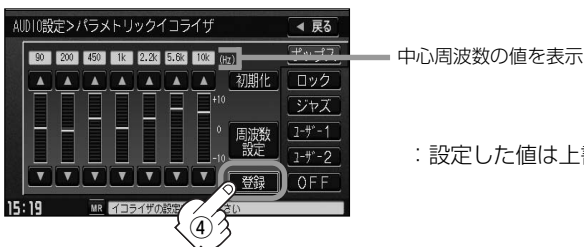


- ▲：中心周波数アップ / ▼：中心周波数ダウン
- ▲/▼で効果範囲の大→中→小の切り替え

③ 戻る ボタンをタッチする。

：調整した値を保持しながらパラメトリックイコライザ画面に戻ります。

④ 登録 ボタンをタッチする。



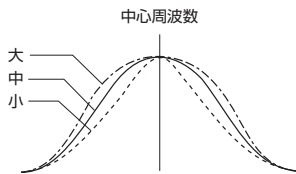
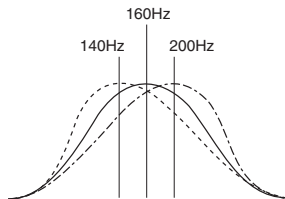
：設定した値は上書き保存されます。



●中心周波数と効果範囲の設定について

・中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。

・レベルを調整したときのレベルの効果(変わりがた)を設定することができます。
大…中心周波数付近で大きくレベルが上がります。
中…大と小の間となります。
小…ゆるやかにレベルが変わります。

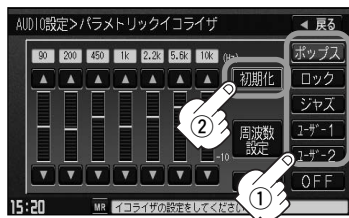


●調整した値を設定する前の値(初期値)に戻ることができます。

①パラメトリックイコライザ画面で初期化したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

② **初期化** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- パラメトリックイコライザ画面で **OFF** ボタンをタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- 登録** ボタンをタッチする前に **戻る** ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずAUDIOメニュー画面に戻ります。
- 手順 **3** (35ページ)で音質を選択(イコライザの設定を)すると音場(**EQ** 32~34ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- イコライザ設定中はオーディオモード画面のとき **EQ** マークが表示されます。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



マーク表示

オーディオの調整をする(4)

スピーカーを設定する

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(▶32~34ページ)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置/大きさ	LARGE	SMALL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **[MENU]** ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。


オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **スピーカー設定** ボタンをタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

 AUDIOメニュー画面につきましては▶23ページを参照ください。

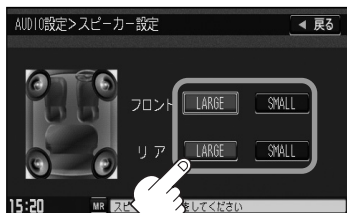
アドハイス

AUDIOメニュー画面



3 上記表を参照して画面の **LARGE** / **SMALL** ボタンをタッチする。

スピーカー設定画面



3



選択した結果が反映される



アドバイス

17cm以上の場合はLARGE、16cm以下の場合はSMALLの設定をおすすめします。

※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(5)

フェード・バランスの調整をするには

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

バランス
BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

フェード
FADE：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの
(MENU) ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 MENU ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **フェードバランス**
ボタンをタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



アドバイス

AUDIOメニュー画面につきましてはP23ページを参照
ください。

AUDIOメニュー画面

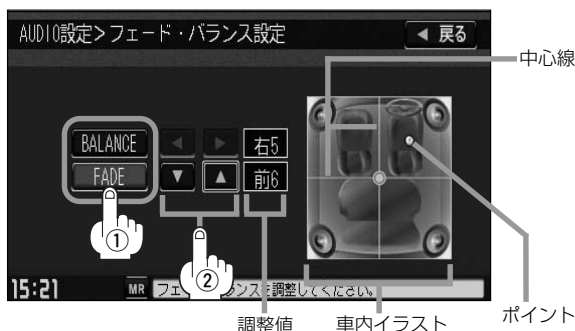


3

値を調整します。

①調整したい項目 (**BALANCE** / **FADE**) ボタンをタッチする。

②◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンをタッチして値を調整する。



●車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

バランス
BALANCE (左9~右9)

◀ ボタンタッチ

: 右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ

: 左スピーカーの音量が下がります。

フェード
FADE (前9~後9)

▼ ボタンタッチ

: 前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ

: 後ろスピーカーの音量が下がります。



アドバイス

- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)され
ます。

オーディオの調整をする(6)

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって発生する走行ノイズの大きさに反応し、オーディオの音量を自動で調整します。

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、車速連動音量の設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの [MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は[MENU] ボタンを2回押します。



オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 [MENU] ボタン

2 画面の [AUDIO設定] の [車速連動音量] ボタン をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。

 AUDIOメニュー画面につきましては  23ページを
参照ください。

アドバイス

2 -2



AUDIOメニュー画面



2 -1

3 設定したい音量ボタン ([LOW] / [MIDDLE] / [HIGH]) をタッチする。

※車速(走行速度)に応じて音量変化は

- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- HIGH…大きい

となります。

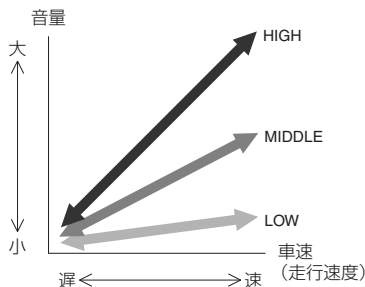
連動音量



3

4 設定を終わるには…

画面の [戻る] ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ（小さくし）ます。
※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 連動音量を設定しない場合は左記手順 **3** のとき **OFF** ボタンを選択します。



- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

カスタマイズソース(Quick)を設定するには

よく使用するモードボタンをQuickメニューに登録することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

: AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(Music Rackモード画面(例))



1 MENU ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Quickメニュー** ボタンをタッチする。

: Quickメニュー設定画面が表示されます。



AUDIOメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面



Quickメニュー設定画面(例)



3 ソース候補よりカスタマイズソースに登録したいボタンをタッチする。

: 選択した順にカスタマイズソースに表示されます。



順次、次のボタンが
くり上がって表示さ
れます。

カスタマイズソースに
登録したいボタンが
表示されます。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



オーディオ

- 登録したボタンは各再生(TOP)画面で **Quick** ボタンをタッチすることにより選択することができます。
 「カスタマイズ(Quick)機能について」314ページ

※ナビゲーションでもよく使用する機能をQuickメニューに登録することができます。

- 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「Quickメニューの設定を変えるには」205、206ページ
- カスタマイズソースにあるボタンをタッチするとソース候補にボタンを戻すことができます。
- 標準** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに表示されるボタンは工場出荷時の状態(初期設定 319ページ)に戻ります。
- 全解除** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに設定したボタンをすべて解除(取り消し)にします。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示することができます。



録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)につきましては弊社ホームページから提供しております。(注)

(注) 操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/ACCESS>をご参照ください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音方法の手動／自動を選択する	48
録音する	49～53
本機のMusic Rack (HDD)機能について	49
Music Rack (HDD)への録音について	50～53
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を 選択する	51～53
データ管理	54～75
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の 流れについて	54、55
Gracenoteデータベースの更新をするには	56～61
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	62、63
音楽データの修復をするには	64
音楽データの初期化をするには	65
HDDの情報を知る	66
画像を変える	67～69
画像を追加する	70～72
画像をコピーする	73～75

録音方法の手動／自動を選択する

AUDIO設定

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMusic Rack(HDD)へ録音することができます。録音には手動録音と自動録音があります。

1

オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※AUDIOメニュー画面につきましては23ページを参照ください。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **録音設定** ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面(例)



録音設定画面



音質の選択や録音可能時間の確認もできます。**[F5]** 音質選択52ページ

3

録音方法(**手動録音** / **自動録音**)を選択する。

■ **手動録音** ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音速度(マハリッピング／等速リッピング)／録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して**録音開始** ボタンをタッチすると録音を開始します。

[F5] 「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」

51～53ページ

■ **自動録音** ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機(Music Rack)に録音(等速録音)を開始します。

[F5] 51、80ページ参照

※本機の録音方法(初期設定)は“自動録音”に設定されています。



アドバイス

- すでに本機(Music Rack)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**マハリッピング** または **等速リッピング** を選択して録音を開始させてください。**[F5]** 51～53ページ
- 録音を開始する前に**[F5]** 「録音する」49、50ページを必ずお読みください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：設定は確定(決定)され、**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

録音する(1)

本機のMusic Rack(HDD)機能について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack(HDD)機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenoteデータベース収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどを選曲メニューの各ボタンに自動で振り分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮化を実現
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能



アドバイス

- 選曲メニューの各ボタンへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合には行なわれ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数☆	約3500曲
最大容量	14GB

※☆印：録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。)

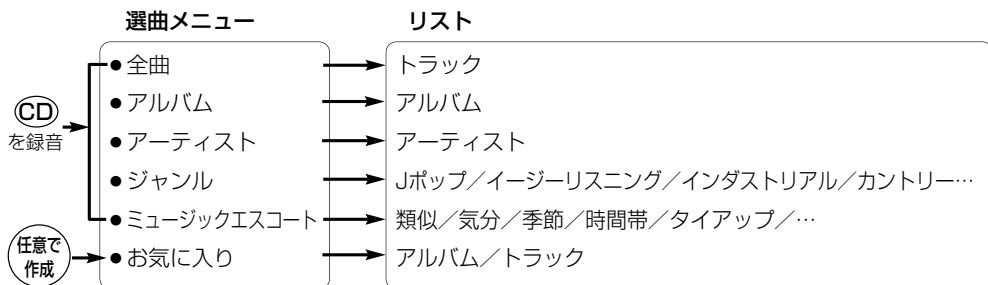
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack(HDD)には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大14倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。(マッハリッピング(高速録音)中はMusic Rack/CD/SD/USBモードでは無音となります。)
- Gracenoteデータベースについては14、15、54～63ページをご覧ください。

Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲メニューの各ボタンに振り分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲メニューの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。



※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



録音する(2)

Music Rack(HDD)への録音について

- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでにMusic Rack(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は手動で録音速度、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 自動録音中に録音を中止して他のモードにし、CDモードに戻すと1曲も録音されていない場合は再度自動録音が始まります。
- エンジンスイッチ0(OFF)やオーディオをOFF状態にしても前回設定した録音方法／録音音質（ 48ページ）は保持されます。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、SDカード、USBメモリデバイス、iPod、テレビ、ラジオなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをI(ACC)の状態では録音しているときに、II(ON)にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータがこわれる場合もあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - マッハリッピング時(音楽CDを録音中)にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。(ただしMusic Rack／SD／USBモードは曲の再生はできません。)また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 録音途中で録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには「 HDDの情報を知る」66ページ(“音楽データ”部分)を参照してください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。

■本機は初期設定が自動録音に設定されているため未録音のCDを挿入すると、同時に等速リッピング(録音)を開始します。

CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合



録音を止めたい、等速リッピングをやめてマッタリッピングをしたい、選択曲録音をしたい場合は「録音中止」ボタンをタッチしてください。(下記画面が表示されます。)

※録音を中止してもすでに本機(Music Rack)に録音したトラックは本機(Music Rack)に保存されます。

※自動録音と手動録音の設定のしかたは「録音方法の手動/自動を選択する」48ページを参照してください。手動録音の場合、録音速度の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。
[P51(下記)~53ページ]

録音速度を選択し、録音方法/録音音質を選択する

録音の速度には、音楽を再生させながら録音する等速リッピングと通常の14倍速で録音するマッタリッピングがあります。

※マッタリッピング中、音楽CDは再生できません。(無音となります。)

1 CDモード時、画面の録音速度 (マッタリッピング / 等速リッピング)を 選択する。

: 録音方法選択画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



■ マッタリッピング ボタンを選択した場合

: 最大14倍の速さでディスクが回転して、録音します。
(マッタリッピング中Music Rack/CD/SD/
USBモードでは音楽は再生できません。)

■ 等速リッピング ボタンを選択した場合

: 通常の速さで再生録音します。
(等速リッピング中Music Rack/SD/USBモードでは音楽再生できません。
CDモードでは録音中の音楽が再生されます。)

録音する(3)

2 録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音 / 選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

□ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

: CD内にある全ての曲の録音となります。
ただしHDD (Music Rack)の容量が足りない場合

全曲録音 ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

□ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

: 録音曲選択画面が表示されます。



1. 録音したいトラックをタッチする。



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑: このトラックを録音します。

☐: このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。(✓表示有 / トラックは灰色表示)

2. **決定** ボタンをタッチする。



: 録音したいトラックが確定(決定)され、リッピング画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除(無効)となりリッピング画面に戻ります。



アドハイス

- Music Rackに録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“Trackxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。
- 次ページがある場合、▲ / ▼ ボタンタッチでページ戻し / 送り表示をします。

■ “録音音質” (高音質モード / 標準モード) を選択する場合

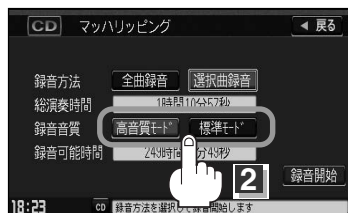
音の質(容量)を選択することができます。

□ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

: 音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

□ **標準モード** ボタンをタッチすると…

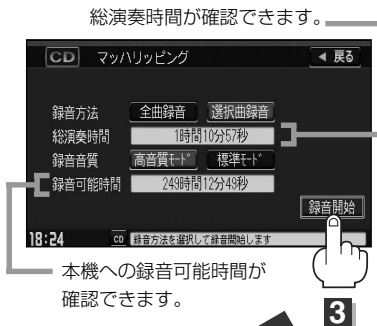
: 音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※“高音質モード”に比べて録音できる曲数が多くなります。



3

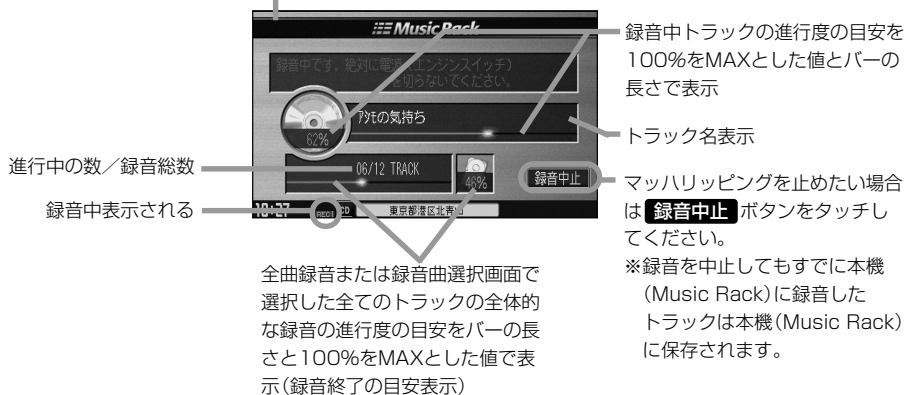
画面の「録音開始」ボタンをタッチする。

- 手順 **1** (51ページ)でマッハリッピングを選択している場合はメッセージとリッピング状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(52ページ)で選択した曲の録音を無音にて開始します。
- 手順 **1** (51ページ)で等速リッピングを選択している場合はCDモード画面に戻り、全曲または録音曲選択画面(52ページ)で選択した曲を再生録音します。



マッハリッピング中の情報を確認することができます。

マッハリッピングの場合(例)



全曲録音または録音曲選択画面で選択した全てのトラックの全体的な録音の進行度の目安をバーの長さとして100%をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)



アドハイス

- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。

[現在地] ボタンを押す。 : ナビゲーション画面を表示します。

※ただし、マッハリッピング中ナビゲーションのメニュー等の操作は限定されます。

さらに、録音時間は通常より長くなります。

[AUDIO] ボタンを押す。 : **[VTR]** / **[Digital TV]** / **[AM]** / **[FM]** / **[iPod]** ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※マッハリッピング時に他のモードを表示させている場合、録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- マッハリッピング中に他のモードにしたとき、再度マッハリッピング画面に戻すには…
[AUDIO] ボタンを押す→ **[CD]** ボタンをタッチ→ **[録音中止]** ボタンをタッチします。
- Music Rack(HDD)への録音可能時間の情報を知ることができます。

[HDDの情報を知る] 66ページ

データ管理(1)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースなどが収録されており、CDを再生するだけで自動で画面にアーティスト名・タイトル名などが表示されるため、入力の手間をばくくすることができます。(もちろん編集も可能です。)

本機に収録されていない情報の場合でもSDカードを使用して情報を書き出し、パソコンでGracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得し、本機にアップデートすることで最新の情報に更新することができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

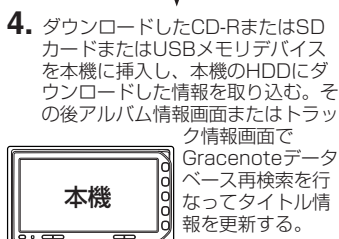
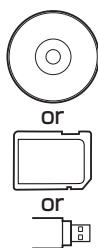
また、MCDBデータベースを利用することにより属性DB(曲調にあわせた再生リストへの振り分け)が可能となりました。

Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて

※番号にしたがって参照してください。

■ ローカルアップデートの場合

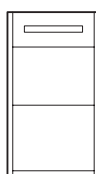
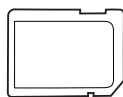
1. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスまたはUSBメモリデバイスをパソコンに挿入する。
2. 下記の弊社ホームページにアクセスし、ユーザー登録する。
<http://www.honda.co.jp/ACCESS>
3. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスにダウンロードする。



4. ダウンロードしたCD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入し、本機のHDDにダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。

■ カスタムアップデートの場合

1. SDカードを本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。
[P.59、60ページ]
2. タイトル情報が書き込まれたSDカードをパソコンに挿入。
3. タイトル情報を追加するアプリケーションをインターネット(弊社ホームページ)からパソコンにダウンロード。
4. Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得。
5. タイトル情報をSDカードに取り込む。
6. SDカードより本機のHDDに取得した情報を取り込む。
7. アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。



※Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーライターなど動作環境をととのえていただく必要があります。また、上記手順の操作方法につきましては弊社ホームページ <http://www.honda.co.jp/ACCESS> をご参照ください。

※USBメモリデバイスを使用するには別売のUSB接続コードが必要です。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。

MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲家・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。



アドハイス

● ローカルアップデート／カスタムアップデートについて

ローカルアップデートとは…

- ・定期的に提供される更新ファイルをダウンロードする方法です。

カスタムアップデートとは…

- ・HDD内にあるデータベースに、一致するタイトル情報が入っていない場合に対象のアルバム情報を本機からSDカードに書き出しを行ない、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する方法です。
- ・ローカルアップデートのデータ更新よりさらに最新のデータベースが取得できます。
- ・間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- CD-Riに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

データ管理(2)

Gracenoteデータベース検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

: AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタンをタッチする。

: データ情報・管理画面が表示されます。

※録音中にこれ以降の操作はできません。

AUDIOメニュー画面



2-1



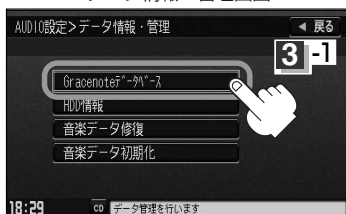
アドバイス

AUDIOメニュー画面につきましては
P.23ページを参照ください。

3 画面の **Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

: Gracenoteデータベース画面が表示されます。

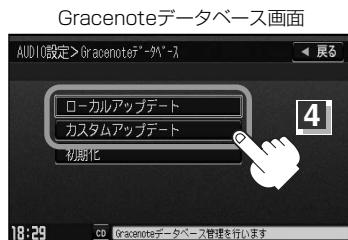
データ情報・管理画面



3-1

4

アップデートの方法(**ローカルアップデート** / **カスタムアップデート**)を選択する。

録音設定
データ管理

Gracenoteデータベースの更新(ローカルアップデート)



アドバイス

- ローカルアップデートとはHONDAのホームページに定期的にアップデートされるGracenoteデータベース更新データを本機でアップデートする方法です。

☞ 下記～58ページへ進む

- カスタムアップデートとはGracenoteデータベース検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。異なったタイトル情報が検索された場合もこの方法によって個別に再取得が可能です。

☞ 59～61ページへ進む

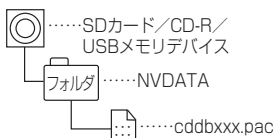
ローカルアップデート ボタンをタッチした場合



アドバイス

ローカルアップデートボタンをタッチする前に…

1. ローカルアップデート専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
3. SDカードの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して¥NVDATAフォルダを作成 / CD-RまたはUSBメモリデバイスの場合、手動でメディアに¥NVDATAフォルダを作成
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
5. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続



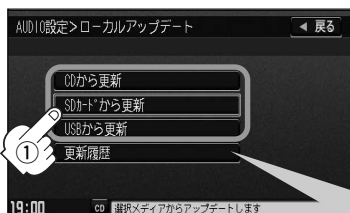
※SDカードは使用前に本機で初期化してください。☞ 316、317ページ

データ管理(3)

①追加する方法(**CDから更新** / **SDカードから更新** / **USBから更新**)のボタンをタッチする。

※USBメモリデバイスの接続につきましては276ページを参考にしてください。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。



注意

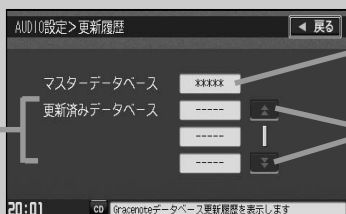
更新中は他の操作(モード切替/車のエンジンスイッチO(OFF)/電源を切る/CD・SDカード・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 ボタンをタッチすると、CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

お客様が変更されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

次ページがある場合、**↑** / **↓** ボタンタッチでページ戻し / 送り表示

②本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ 113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、120ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし「☐データベースから再検索するときは…」117、123ページ参照



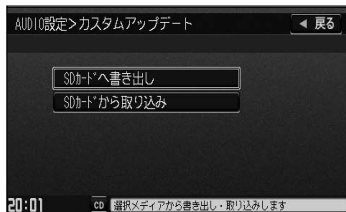
- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行いません。
- CD-Rに書き込み際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

■ **カスタムアップデート** ボタンをタッチした場合

※SDカードを本機に挿入(準備)しておく必要があります。

☞別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「SDカードを入れる/取り出すには」41ページ

カスタムアップデート画面

● **データの書き出しをする。**

アドバイス

新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ **新規アルバム(No title表示)の場合**

1. 60ページ手順①へ進んでください。

□ **まちがったタイトルを表示(ミスヒット)している場合**● **データベースに複数のタイトル情報があるときは…**

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

☞113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集**

ボタンまたは、120ページ手順 **1**、**2** で

トラック編集 ボタンをタッチし、

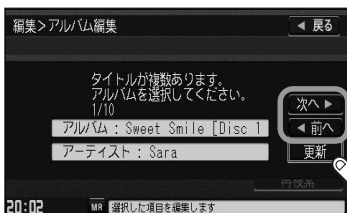
「☐ **データベースから再検索するときは…**」117、

123ページ参照し **データベース再検索** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** ボタンをタッチする。



: タイトル情報が更新されます。

3. 61ページ手順 **5** へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は60ページ
(・データベースにタイトル情報がないときは…)
に進んでください。

データ管理(4)

● データベースにタイトル情報がないときは…

1. Music Rackを再生させて **編集** ボタンをタッチし、 **曲管理** ボタンをタッチする。



：曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、**アルバム編集** ボタンをタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

：まちがったアルバム情報を一旦本機(HDD)に保存します。

4. 56ページ手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、57ページ手順 **4** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。

曲管理画面



アルバム編集画面



① **SDカードへ書き出し** ボタンをタッチする。

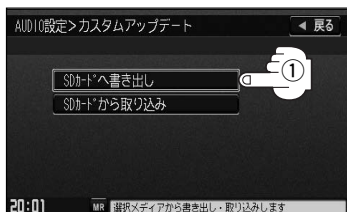
：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

②本機よりSDカードを取り出しパソコンに挿入する。

③パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

④取得した情報をSDカードに取り込む。

⑤SDカードをパソコンより外し、本機に挿入する。

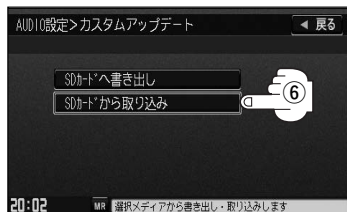


●データの取り込みをする。

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑥へ進んでください。表示していない場合は56ページ手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、57ページ手順 **4** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

⑥ SDカードから取り込み ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードより取得した情報を本機に取り込みます。



⑦本機に取り込んだ情報を反映するには、

アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチして **タイトル情報を更新してください。**

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ 113ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、
120ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし、
☐ **データベースから再検索するときは…**」117、123ページ参照

アルバム編集画面の場合



アドバイス

- **Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて** 54ページもご参照ください。
- ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

データ管理(5)

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1

オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタン
をタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。

※録音中にこれ以降の操作はできません。

AUDIOメニュー画面



2-2



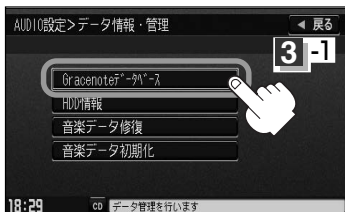
AUDIOメニュー画面につきましては
P.23ページを参照ください。

3

画面の **Gracenoteデータベース** ボタンを
タッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

データ情報・管理画面



4

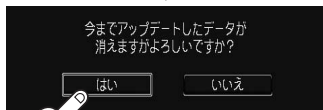
画面の **初期化** ボタンをタッチする。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、
再生を停止する必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいか
どうかのメッセージが表示されるので **[はい]** ボタン
を画面にしたがって選択するとデータを消去し、
Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は
必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面



3-2

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

注意

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート/カスタムアップデート)は消去され、二度と復帰しません。

データ管理(6)

音楽データの修復をするには

Music Rack (HDD)に録音(REC)した音楽データが見当たらない、録音(REC)中にエンジンスイッチを操作してしまいHDDがこわれたときなどに操作するとデータを修復できる場合があります。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENU ボタン

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理**

ボタンをタッチする。

：データ情報・管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。



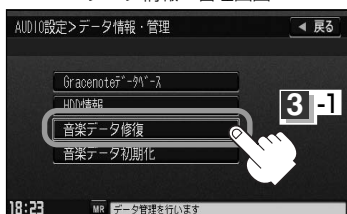
AUDIOメニュー画面につきましては [P.23](#) ページを参照ください。

AUDIOメニュー画面



2-2

データ情報・管理画面



修復には時間がかかる場合がありますがよろしいですか？

はい

いいえ

3-2

3 画面の **音楽データ修復** ボタンをタッチし、

はい ボタンをタッチする。

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。修復できない場合もありますのでご注意ください。

4 修復が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの初期化するには

Music Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENUボタン

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

2 画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理** ボタンをタッチする。


：データ情報・管理画面が表示されます。

AUDIOメニュー画面



2-2

2-1

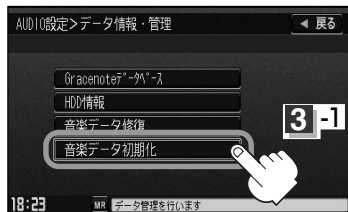
 AUDIOメニュー画面につきましては[P.23ページ](#)を参照ください。

3 画面の **音楽データ初期化** ボタンをタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

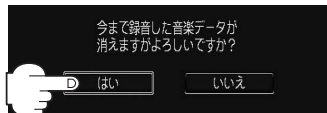
データ情報・管理画面



3-1



3-2



4 初期化が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

 **注意**

- 初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

データ管理(7)

HDDの情報を知る

HDD(本機)の使用状況を確認することができます。

1

オーディオモード画面でパネルの
(MENU) ボタンを押す。

: AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **(MENU)** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **データ情報・管理**
ボタンをタッチする。

: データ情報・管理画面が表示されます。

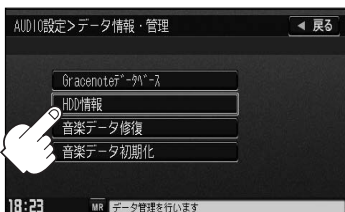


AUDIOメニュー画面につきましては、[P.23](#)ページを参照
ください。

AUDIOメニュー画面



データ情報・管理画面



3

画面の **HDD情報** ボタンをタッチする。

: HDD情報画面が表示されます。

4

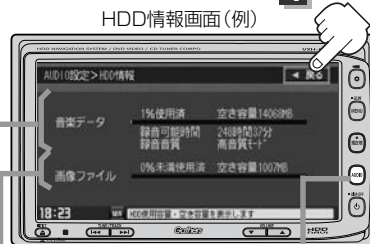
HDD(本機)の使用状況を確認したら…
画面の **戻る** ボタンをタッチまたは
パネルの **(AUDIO)** ボタンを押す。

: **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の
画面に戻り、**(AUDIO)** ボタンを押すと
現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

※工場出荷時や音楽データ初期化時
は“0%使用”と表示され、使用
量が1%以下の場合や1度でも曲を
録音した場合は“1%未満使用済”
と表示されます。

音楽データ
(Music Rack)
の使用情報

画像データファイルの使用情報



4 **(AUDIO)** ボタン

画像を変える

オーディオ画面(DVD/VTR/iPodビデオ/Digital TVモード以外)の背景をお好きな画像にすることができます。

※CDをMusic Rack(HDD)に録音中は設定できません。

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AUDIOメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 MENUボタン

2 画面の **システム設定** の **壁紙** ボタンをタッチする。

：壁紙設定画面が表示されます。

※走行中/録音中、これ以降の操作は選択できません。

AUDIOメニュー画面



オーディオデバイス

- AUDIOメニュー画面につきましては「**図P 23**」ページを参照ください。
- その他のシステム設定につきましては316、317ページを参照ください。

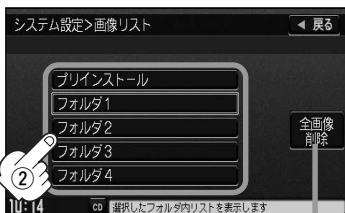
3 画像の変更や削除、スライド表示などを行うことができます。

① **画像リスト** ボタンをタッチする。

壁紙設定画面



② **プリインストール** ボタンまたは **フォルダ1** ~ **フォルダ4** ボタンをタッチする。



全画像削除 ボタンをタッチするとプリインストールをのぞくフォルダ1~4内の全ての画像データを一括で削除することができます。ただし、このとき、フォルダ名を変更されている場合は、フォルダ名が工場出荷時の状態に戻ります。
※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は、追加した画像データは削除してください。



オーディオデバイス

- プリインストールには既存の画像(壁紙)がありますが、フォルダ名の編集(変更)や画像の削除をすることはできません。
- フォルダに画像がない場合は **戻る** ボタンをタッチしてフォルダを選択しなおしてください。

録音設定
データ管理

(HDD情報)

(画像(壁紙)変更)

データ管理(8)

③表示したいファイル(壁紙)を選択しタッチする。

フォルダ1を選択した場合(例)



フォルダ名編集 ボタンをタッチするとお好きなフォルダ名にすることができます。編集のしかたは115ページを参考に入力してください。

全画像削除 ボタンをタッチすると選択中のフォルダ内の画像データを一括で削除することができます。

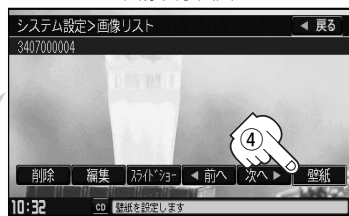
※画面にしたがって **はい** ボタンを選択してください。

次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示

④壁紙 ボタンをタッチする。

：壁紙にしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、壁紙(背景)に設定され画像表示画面に戻ります。

画像表示画面



■画像表示画面のその他のボタンについて

● **削除** ボタンをタッチする。

：表示中のファイル画像を削除します。

※削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので

はい または **いいえ** のどちらかをタッチしてください。

● **スライドショー** ボタンをタッチする。

：一定の間隔で選択したフォルダ内の画像を順次表示します。

※スライドショーを終わるには画面をタッチすると画像表示に戻ります。

● **前へ** ボタンをタッチする。：1つ前のファイル画像を表示します。

● **次へ** ボタンをタッチする。：次のファイル画像を表示します。

● **編集** ボタンをタッチする。：画像の表示位置の調整や縮小/拡大をすることができます。



縮小 ボタンをタッチすると画像を縮小できます。



拡大 ボタンをタッチすると画像を拡大できます。

* 1 : **戻る** ボタンをタッチすると結果を反映して画像表示画面に戻ります。

画像が画面に収まりきらない場合に画像を動かすことができます。(縮小画面も同等)

▲ ボタンをタッチする。：上に動きます。

▼ ボタンをタッチする。：下に動きます。

◀ ボタンをタッチする。：左に動きます。

▶ ボタンをタッチする。：右に動きます。

※**選択できないボタンは暗くなります。**

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アドバイス

- 480×234ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。あらかじめこの大きさで画像を作成しておくと、本機に表示したときに画像が切れたり、小さく表示されたりすることなく、きれいに表示されます。
- JPEG画像を表示する場合、画面(480×234ドット)より大きい画像も、そのまま表示されます。
縮小 ボタンをタッチして小さくするか、 **↑ ↓ ← →** ボタンをタッチして表示位置の調整をしてください。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
 ※本機は、ファイル名は拡張子を含め半角64文字までのファイルを認識できます。
 (ファイル名は半角英数字・_(アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- 画像表示画面で、本機に画像を追加していない場合や **プリインストール** ボタンを選択した場合、 **削除** と **編集** ボタンは選択できません。

データ管理(9)

画像を追加する

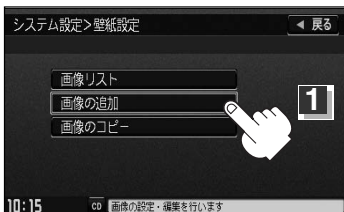
CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを使用して本機にお好きな画像を追加することができます。

※壁紙設定画面を表示する前に、本機にCD-RまたはSDカードを挿入、USBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

☞ CD-R/SDカード挿入は別冊のナビゲーション編37、42ページ、USBの接続は276ページを参考にしてください。

※Music Rack/SD/USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(Music Rack)に録音中はコピーも設定できません。

壁紙設定画面



追加方法選択画面



1

67ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、壁紙設定画面を表示させ、手順 **3** のとき画面の **画像の追加** ボタンをタッチする。

2

追加する方法 (**CDから追加** / **SDカードから追加** / **USBから追加**) のボタンを選択しタッチする。

：画像選択画面が表示されます。

※画像選択画面を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

3

追加したい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

① 追加したいファイルをタッチする。：チェックマーク(✓)が付きます。

画像選択画面(CDから追加する場合)(例)



ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このファイルを追加します。

☐：このファイルは追加しません。

プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながら追加するファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)することができます。(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つずつ選択、解除する場合はファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆️/⬆️ ボタンタッチで1ページずつの戻し/送り表示することができます。

■ 画像を表示させながら選択する場合

画像選択画面(例)

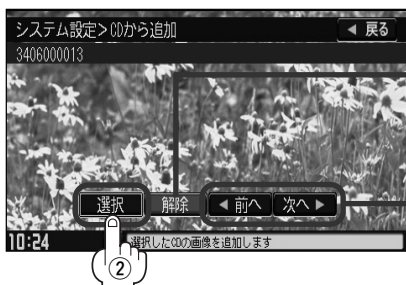
① **プレビュー** ボタン(🔍)をタッチする。

: 画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

録音設定
データ管理

〔画像(壁紙)追加〕

② **選択** ボタンをタッチする。

解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)することができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像 / 次の画像と表示させることができます。

: 画面に表示されている画像が追加候補として選択されます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

: 画像選択画面に戻ります。

4 画面の **追加** ボタンをタッチする。

データ管理(10)

5

追加したいHDD(本機)の **フォルダ1** ~

フォルダ4 ボタンをタッチする。

※ **プリインストール** ボタンに画像は追加できません。

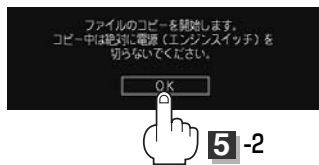
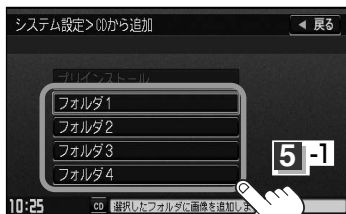
：画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックの付いたファイルをHDD(本機)にコピーします。

注意 コピー中は電源を切らないでください。故障の原因となります。

※ コピーできるファイルの数がオーバーする場合メッセージが表示されるので、他のフォルダを選択するか、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※ コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

：コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



アドハイス

- CD-R/SDカード/USBメモリデバイスから追加した画像に変えるには、**戻る** 「**画像を変える**」67～69ページを参照してください。
- コピーできるファイルは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 1Mバイト以上のサイズのファイルはコピーできません。(リストに表示されません。)
- フォルダ名/ファイル名は全角32(半角64)文字までのファイルを認識できます。(フォルダ名/ファイル名は半角の英数字・ (アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- CD-Rに画像を収録するときは、フォルダの階層は8階層まで
例 ￥○○○¥△△△¥×××.JPG
半角128文字(全角64文字)となるように作成してください。
- 1つのフォルダ内でリストに表示されるファイル数は200以内です。(既存の画像含む。)
- 本機(HDD)にコピーできるファイル数は最大800です。
- コピー時、同じ名前のファイルがある場合、同じ名前が表示されます。
- Music Rackに音楽を録音している場合は、録音を止めてからデータの追加をしてください。
- 画像選択画面に表示される画像数は最大200です。201以上画像がある場合はCD-Rに収録されている順に200表示されます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

画像をコピーする

本機(HDD)に増えてしまった画像データをSDカードやUSBメモリデバイスへ保存することができます。

※本機にSDカードを挿入、USBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

※Music Rack/SD/USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(HDD)に録音中はコピーも設定できません。

- 1** 67ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、壁紙設定画面を表示させ、手順 **3** のとき画面の **画像のコピー** ボタンをタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。

1



- 2** コピーしたいメディア (**SDカードへコピー** / **USBへコピー**) のボタンを選択しタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

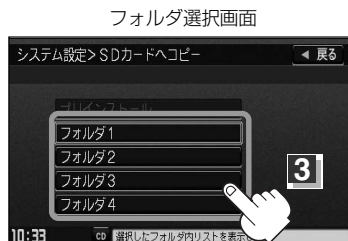
2



- 3** コピーしたい **フォルダ1** ~ **フォルダ4** ボタンをタッチする。

※ **プリインストール** ボタンの画像はコピーできません。

3



データ管理(11)

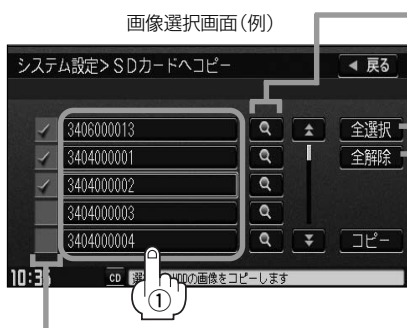
4 コピーしたい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

① コピーしたいファイルをタッチする。

：チェックマーク(✓)が付きます。



プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながらコピーするファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)ことができます。
(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つずつ選択、解除する場合はファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆️/⬆️ ボタンタッチで1ページずつの戻し/送り表示することができます。

ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑️：このファイルをコピーします。/☐：このファイルはコピーしません。

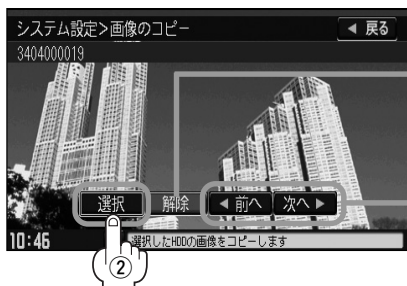
■ 画像を表示させながら選択する場合

① **プレビュー** ボタン(🔍)をタッチする。

：画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

② **選択** ボタンをタッチする。



画像選択画面(例)



解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)ことができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像/次の画像と表示させることができます。

：画像に表示されている画像がコピー候補として選択されます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

：画像選択画面に戻ります。

5

画面の **コピー** ボタンをタッチする。

: 画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックマークの付いたファイルをSDカードにコピーします。

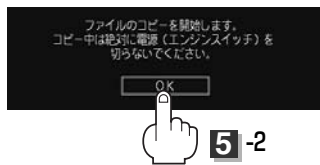
注意

- コピー中は電源を切らないでください。
- コピー中にSDカード/USBメモリデバイスを抜かないでください。故障の原因となります。

※コピーできるファイルがSDカードの容量をオーバーする場合メッセージが表示されるので、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

: コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

: **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

